

# H29年度高知県退院支援事業 in 医療法人 臼井会

～住み慣れた地域で生活できるように患者、家族を中心とした退院支援を目指して！～

## みんなで退院に向けた協力体制を作っていきます

退院支援事業は、法人だけの考え方ではなく、地域と一緒に一患者さま、ご家族と合意形成の中で地域と向き合い、より退院の質を向上させる必要があります。職員全員が当事業を理解し、円滑な退院を迎えられるよう尽力致します。



理事長 臼井 隆

## 高知県立大学の支援をいただき、実施しています。

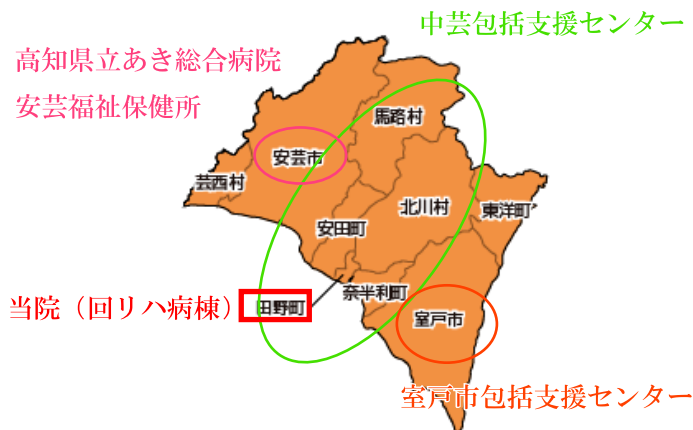
高知県立大学 在宅看護学 教授  
森下 安子先生

高知県立大学 看護学研究科研究員・健康長寿センター  
久保田 聡美先生

高知県立大学 健康長寿センター退院支援専門員  
乾 由美先生

看護学部・社会福祉学部・健康栄養学部教員の皆さま

## 地域の運営メンバー



## 退院支援事業の目的

- ①「地域・多職種協働型退院支援の仕組み作りガイドライン」を活用し、地域と共に退院支援体制の構築及び退院支援を実施する。
- ②退院支援の相談、教育が可能な人材を育成する。

## 退院支援事業の取組み

### 1. 研修事業

#### ①看護職研修

患者家族の退院後の生活を具体的にイメージできる視点を養う。

#### ②多職種協働研修

地域との協働、多職種協働システム化をキーワードに薬剤部、栄養部、リハ部、MSW、経営企画部など退院支援に関わる病院スタッフと地域の多領域の専門職が参加する研修を実施する。

#### ③コーディネーター研修

院内での横断的な支援及び地域多職種協働型の退院支援を推進するコーディネーター能力の取得を目指す。

### 2. 病棟におけるガイドライン活用に関する相談支援

「地域・多職種協働型退院支援の仕組み作りガイドライン」を効果的に活用できるよう相談支援

多職種が課題と目標を共有して  
ケアを展開する仕組み作り

## 連携した仕組み作り

入院前から地域、多職種が  
連携する仕組み作り

退院後、退院支援を評価し、ケアや  
システムを改善する仕組み作り

入院－退院の過程において地域と協働して  
退院支援を展開する仕組み作り